



ならチャレンジド総会 記念講演

5/29 橿原市コンベンションルーム

～患者さんのために働く！～ 市立奈良病院からのレポート

【記念講演】 市立奈良病院 手術部

副看護部長 小木裕子さん 看護補助者 井上春斗さん（18歳、高等養護学校卒）

【インタビュー】 市立奈良病院

看護補助者2名（高等養護学校卒）



小木裕子副看護部長、井上春斗さん、Aさん（左から）



得意なことを発揮する 本人は働きがい、現場も笑顔！

市立奈良病院は今春、県立高等養護学校卒業生3名を看護補助者で採用されました。

ひまわりメンバー（若者当事者会）の司会により、阪田拓紀さん（ひまわり）のピアノ演奏で開幕。



小木裕子副看護部長は話されました。「手術部はとても忙しく、緊迫した現場です。器具、衛生材料等の整理整頓、洗浄は大切な仕事です」「井上春斗さんが職場実習に来た際、“救世主”が現れたと思いました。採用は“相思相愛”です」「手術部の看護師は井上さんのことを“仕事が早くきれい”“笑顔で癒される”“力仕事をしてくれ助かっている”と喜んでいます」「医療現場は分業してチームで仕事をするのが慣れているので、受け入れは容易でした。①自分のペースでできる作業②患者さんと接しない作業を

切り出しました」「本人が得意なことを中心にしてもらうようにしました。結果、現場は助かっています。本人はやりがいを持ってきています」。

井上春斗さんは語りました。「整理整頓、手洗い場の清掃など自分の好きなこと、得意なことが多く、仕事が楽しいです」「役に立っていることがうれしい」「今よりしっかり作業を覚えて、感謝の言葉をもらえるように全力で取り組みたいです」。

2名の報告後、Aさん、井上さんへ司会者がインタビューしました。

Aさんは語りました。「ベッドシーツ交換、退院後の清掃、備品補充、トイレ清掃などをしています」「困っている人に感謝されたい、人の役に立ちたいと思っています」「いろんな人から頼られる看護補助者になりたいです」「未熟なところもありますが、今後もよろしくお願いします」。

生徒、保護者、教師、支援者、企業ら7名から質問、感想がありました。



